

平成 27 年度

「アフガニスタン・開発途上国女子教育支援事業野々山基金」による、 女子教育・基礎教育分野における国際調査□募集要項

1.□趣旨：

□平成 24 年に、お茶大卒業生、故野々山様の遺贈により、アフガニスタンをはじめとする困難な状況にある開発途上国に対して何ができるかを調査、研究、実践するため、本学内に「アフガニスタン・開発途上国女子教育支援事業野々山基金」が設立されました。本基金を通じて開発途上国における女子教育・基礎教育分野の国際調査活動を支援します。奮ってご応募ください。

2.□対象分野：

□開発途上国の女子教育および基礎教育、ノンフォーマル教育に資する国際調査

□*□開発途上国のみならず、欧米諸国を拠点とする女子教育関連機関等の調査も可。

□*□平成 28 年 1 月 31 日までに終了する調査を対象とします。

3.□対象者：

□博士前期課程および後期課程に在籍する学生（休学中の者を除く）

□*□本プログラムへの申請件数は 1 人につき 1 件です。1 件につき支援可能な渡航回数は 1 回です。

□*□平成 23 年度から平成 26 年度までに過去 2 回以上、本プログラムによる支援を受けている方は申請できません。応募者多数の場合は 1 回目の方を優先します。

4.□採用予定数：3 件程度

5.□調査費用：

航空運賃のみ支給いたします。なお、航空運賃が 20 万円未満の場合は実費、20 万円以上の場合は 20 万円を本学およびグローバル協力センターの規定により支給します。航空運賃とは渡航期間限定のディスカウント航空運賃、又はそれに準ずるものをさします。

□*□パソコンなどの備品、文房具などの消耗品費は対象になりません。

□*□現地移動費は航空運賃を除き、申請はできません。

□*□現地の通訳者等の費用は対象になりません。

□*□海外旅行保険はご自身で必ずご加入ください（支給する費用の対象とはなりません。）

□*□要望に応じセンターが保有する統計ソフト（SPSS）を貸し出すことができます。

6.□申請受付期間：平成 27 年 4 月 23 日（木）～5 月 28 日（木）□17：00 必着

7.□申請書類

□以下の 3 点の書類をダウンロードし、グローバル協力センターまで提出して下さい。（メール・郵送不可）

- ・申請書（所定 Word フォーマット）
- ・予算内訳（所定 Excel フォーマット）
- ・日程表（所定 Excel フォーマット）
- *所定フォーマットは、グローバル協力センターホームページよりダウンロードして下さい。
- （<http://www-w.ao.ocha.ac.jp/intl/cwed/e20150414-2/>）
- *申請書類提出先、問い合わせ先
- グローバル協力センターTel：03-5978-5546
- メール：info-cwed@cc.ocha.ac.jp

8.説明会

- 4月23日（木）12：30～13：00場所：学生センター棟4階第5会議室
- 申請希望者は必ずご参加ください。

9.選考及び結果の通知：

- 書類審査の通知6月10日頃
- 面接審査6月中旬
- 選考結果発表6月下旬
- 採択された方は、7月上旬に開催される説明会に必ずご参加下さい。

10.採択者の義務：

- ・調査終了後、3週間以内に報告書を提出ください。（締切厳守。報告書作成要項は別紙。なお、報告書はセンターが発行する事業報告書に掲載し、ウェブ等を通じて公表します。）
- ただし1月渡航の方は平成28年2月12日（金）までにご提出ください。
- ・国際協力、平和構築、大学間連携などを推進するメンバーとしてご協力ください。
- ・学内で開催する報告会で、調査結果を報告頂きます。

11.その他

- ・採択後、原則として申請内容の変更は認められません。
- ・調査にあたって倫理審査等が必要な場合は各自で渡航前までに申請して下さい。
- ・現地調査に関する安全情報の収集手段として、外務省の「領事サービスセンター（海外安全担当）」の情報提供サービス等を活用して下さい。渡航前に「外務省海外旅行登録「たびレジ」」に登録して頂きます（たびレジ：<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>）。

グローバル協力センター長
北林春美